

# 特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 2022 年度（令和 4 年度）事業報告

## 1. 全体のふりかえり

2022 年度は、＜「第 3 次豊中アジェンダ 21」の改定を契機に、さらなる活動の広がりを＞という全体方針を掲げて活動を進めました。

1999 年に地球環境を守る市民行動計画である「豊中アジェンダ 21」と、行政計画である「豊中市環境基本計画」が策定されました。これら 2 つの計画は車の両輪として、現在に至るまで協働とパートナーシップのもとに推進が進められています。2018 年に策定された「第 3 次豊中アジェンダ 21」は、2022 年度に中間見直しを行い、「第 3 次豊中アジェンダ 21」の核となる 80 項目の行動提案などについて、見直しの議論を行ってきました。

2021 年度にとよなか市民環境会議の規約が改正され、当法人もとよなか市民環境会議の共同事務局となりました。今回の「第 3 次豊中アジェンダ 21」改定では、当法人の各部会・プロジェクトから「策定委員会」へ参加するとともに、当法人が策定委員会の事務局を努めました。また、策定委員会以外からも広く意見を募るために開催した、ワークショップや市役所でのロビー展示には当法人の多くの会員の参加を得ました。特に、ロビー展示では、30 人以上の会員が交代で市民対応を行うとともに、一緒に対応した会員同志で部会・プロジェクトを越えた交流も図られました。

部会・プロジェクト活動について、自然部会は豊中市と協働でツバメのねぐらとなっている赤坂下池のヨシ刈りを初めて実施し、事業部会は事業者による SDGs の勉強会を通じたゆるやかなネットワークが広がりつつあります。竹炭プロジェクトと花と緑のネットワークは、それぞれ千里中央公園と原田緩衝緑地で民間事業者による活性化事業の動きが進み始め、それに伴う今後の活動の広がりへの期待と、今後の見直しに関する不安の両方が出てきています。

当法人が指定管理者となっている環境交流センターは、2022 年度に 2023 年度から 5 年間（第 3 期）の公募があり、引き続き当団体が運営することが決まりました。公募の選考においては、審査委員からさらなる施設運営への期待を込めた意見等が多く出されたことから、そうした意見等を真摯に受け止めて、引き続き体制の強化や活動の拡充に向けて取り組んでいきます。

## 2. 全体活動

### (1) NPO 法人運営

ア 会員の状況（2022 年 3 月 31 日現在）

	正会員	賛助会員	合計
個人	130 人	5 人	135 人
団体	29 団体	0 団体	29 団体

2002 年 6 月に「豊中アジェンダ 21 推進会」として設立以降の年度ごとの会員数は以下の通りです。

年度	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
個人	110 人	115 人	121 人	139 人	137 人	140 人	153 人
団体	31 団体	38 団体	41 団体	44 団体	44 団体	40 団体	36 団体
年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
個人	149 人	159 人	157 人	155 人	142 人	137 人	139 人
団体	36 団体	36 団体	38 団体	35 団体	34 団体	35 団体	36 団体

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
個人	137人	137人	135人	132人	131人	131人	135人
団体	37団体	34団体	31団体	30団体	29団体	28団体	29団体

#### イ 総会の開催

2022年度の通常総会を以下の通り開催し、すべての議案が提案どおり承認されました。新型コロナウイルス感染症の影響により、2022年度もとよなか市民環境会議の総会が書面開催となったため、NPO法人の総会のみを単独で開催しました。

日時 2022年6月27日(月) 14:00～15:00

場所 豊中市立環境交流センター 会議室

出席者 120人(内委任状81人、当日の会員数158人)

議長 井下祥子さん

議事録 署名人：塩見光夫さん(理事長)、馬淵康子さん 作成：茨木かづ子さん

議案 事業報告

第1号議案 2021年度(令和3年度)事業報告について

第2号議案 同活動決算の報告について

第3号議案 同監査報告について

事業計画

第4号議案 2022年度(令和4年度)事業計画について

第5号議案 同活動予算について

その他

第6号議案 役員を選任について

第7号議案 定款の変更について

#### ウ 役員を選任

理事・監事の任期が終了することから、新たな役員を選任を行いました。役員を選任は、理事会で役員選考委員会を設置し、候補者を選考したうえで、総会で決議されました。選考に先立ち、活動案内やホームページにて6月1日(水)～8日(水)の期間、当法人の正会員を対象に役員への立候補者を募集しました。また、総会終了後に臨時理事会を開催し、理事長、副理事長の選任を行いました。

役員選考委員会

実施日：5月11日(水)

委員：井下祥子(委員長)、福原行雄、茨木かづ子、三宅史郎、中村義世、廣田学

#### 新役員名簿(50音順)

役職	名前	所属等	備考
理事長	塩見 光夫	生活部会、企画屋本舗	
副理事長	大岡 一馬	事業部会	
	高島 邦子	花と緑のネットワーク	
理事	井上 和彦	(個人会員)	
	井原 美香	地球温暖化対策プロジェクト	新任
	茨木 かづ子	事業部会、花と緑のネットワーク	
	上原 泰雄	竹炭プロジェクト	
	岡本 武司	竹炭プロジェクト	

	柿本 修一	自然部会	
	川島 芳廣	自然部会	新任
	西村 裕	花と緑のネットワーク	新任
	野崎 浩二	事業部会（生活協同組合コープこうべ大阪北地区本部）	新任
	廣田 学	事務局長	
	和田 友宏	事業部会（合同食品株式会社）	新任
監事	荒堀 尚	事業部会（大阪ガス株式会社）	新任
	伊藤 格	竹炭プロジェクト	再任
	山口 壽	自然部会	

#### エ 理事会

理事会は基本的に第4火曜日に開催しています。理事会を開催しない月は理事協議会を開催しています。また、組織のあり方や財政について集中的に議論を行うため、理事意見交換会を不定期で開催していますが、2022年度は実施がありませんでした。

実施日	主な議題	出席者数
5月24日	環境交流センター／研修計画／個人情報保護方針／総会／議案書／とよなか市民環境会議	9人
6月13日	原田緩衝緑地／環境交流センター／役員改選／総会／議案書	8人
6月27日	理事長・副理事長の選任	13人
7月28日	理事会関連／理事の役割分担／環境交流センター	12人
9月22日	職員採用委員会／環境交流センター／就業規則の見直し／エコ市民賞／環境展／くらしかん	12人
12月22日	職員の採用／環境展／パブコメ／今後の取組み	11人
1月26日	環境交流センター／就業規則の改正／パブコメ／第3次計画見直し／環境展	9人
2月21日	環境交流センター／予算・会計／環境展／第3次計画見直し／SNS発信	9人
3月23日	職員募集／環境交流センター／就業規則の改正／協定書／環境展／今年度報告と次年度計画／年度末の対応	11人
合計	9回	94人

※出席者数は理事のみの人数

#### 理事協議会

実施日	主な内容	出席者数
4月26日	環境交流センター／個人情報保護方針／総会／議案書／定款変更／アルバイト職員	6人
8月25日	環境交流センター／エコ市民賞／環境展／第3次計画見直し	10人
10月27日	職員の採用／環境展／第3次計画見直し	10人
11月18日	環境展／環境交流センター／パブコメ	12人
合計	4回	38人

※出席者数は理事のみの人数

#### オ 特別理事会

法人の活動について専門的な立場から検証・評価・提案するため、特別会員（学識経験者等の個人）による特別理事会を構成しています。2022年度は必要に応じて適宜ご意見をいただきました。

特別会員名簿（50音順、敬称略、所属等は2022年3月時点）

名前	所属
大久保 規子	大阪大学大学院法学研究科 教授
長内 繁樹	とよなか市民環境会議 会長
佐藤 徹	高崎経済大学大学院地域政策研究科 教授
高橋 秀行	岩手県立大学総合政策学部 教授
中口 毅博	芝浦工業大学システム理工学部 教授
新川 達郎	同志社大学名誉教授
堀 孝弘	京都市ごみ減量推進会議

#### カ 人事給与制度検討委員会・研修計画検討委員会

職員の人事や給料に関する処遇改善を図り、職員が長期的に就業できる体制作りを進めるため、2020～2021年度に理事の中から選出したメンバーで人事給与検討委員会を開催しました。2022年度は就業規則等の改正の必要性が出てきたため、従来のメンバーで引き続き人事給与検討委員会を開催し、内容の検討や社労士の方と協議を経て、理事会への提案を行いました。

また、2021年度に当法人の人材育成基本方針を策定したことを受けて、2022年度の研修計画を策定するため、研修計画検討委員会を開催し、検討内容について理事会への提案を行いました。

##### 人事給与制度検討委員会

実施日：1月20日（金）

委員：茨木かづ子、大岡一馬、塩見光夫、井上和彦、廣田学

##### 研修計画検討委員会

実施日：5月6日（金）、5月17日（火）

委員：大岡一馬、井上和彦、廣田学

#### キ インターンシップの受け入れ

大学からのインターンシップ研修を受け入れていています。2022年度は（公財）大学コンソーシアム京都と（特活）大学コンソーシアム大阪を通じて受け入れました。

実習期間：8月16日（火）～9月7日（水）（各12日間）

所属大学：龍谷大学、京都光華女子大学、京都女子大学、近畿大学（2人）、大阪女学院大学

合計6人

#### （2）とよなか市民環境展 2022 の開催

【主な費用：負担金・助成金・協賛・寄付 事業開始：1992年（市が開始）

他との体制：協働での進行】

2022年度は、2021年度と同様に、豊島体育館を会場に、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら実施しました。

## ア 概要

テーマ：豊中の自然の今を知る、未来を創る ～生物多様性を大切に～

日時：11月25日（金）、26日（土）両日とも10:00～15:30

場所：豊中市立豊島体育館

主催：NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21

共催：とよなか市民環境会議、豊中市、豊中市教育委員会

協力：コナミスポーツ（株）、豊中市スポーツ推進委員協議会、豊中市労働組合連合会

備考：大阪湾広域臨海環境整備センター「令和4年度環境保全市民活動等助成金」を受けました

## イ 内容

- ・出展団体による展示・体験
- ・企画展示「豊中の自然の今を知る、未来を創る」
- ・滋賀県甲賀の間伐材利用コーナー
- ・リユースコーナー（26日抽選）
- ・竹炭・竹酢液、とよっぴーの有料配布
- ・スタンプラリー
- ・豊中市温暖化対策事業の企画（とよかがもらえる企画）
- ・水素自動車の展示
- ・景品がもらえる来場者アンケート
- ・ゆるキャラの登場（マチカネくん、とよピヨ（26日のみ）、ごみぶくろう（26日のみ））
- ・おもちゃ病院【26日のみ】
- ・こども服リユース【26日のみ】
- ・古本市【26日のみ】
- ・会場周辺の商店街の商品販売【26日のみ】
- ・太陽観察（屋外）【26日のみ】

## ウ 参加者数等

- ・参加者数：2,232人（出展団体関係者・来場者含む2日間のべ人数）
- ・学校参加数：6校・園
- ・参加団体数：35団体

## エ 出展団体説明会

実施日	内容	場所	出席者
11月16日（水）	出展団体説明会	環境交流センター、オンライン	21人

※参加者数は会場とオンラインの合計人数

## オ プロジェクト会議（当法人＋豊中市（環境政策課・スポーツ振興課）＋コナミスポーツ）

実施期間	内容	参加者数
8月25日（木）～12月16日（金）	プロジェクト会議（6回）	78人
10月6日（水）～11月16日（火）	企画展示会議（5回）	38人
合計	11回	116人

### (3) 共同デスク

【主な費用：なし 事業開始：2010年 他との体制：他団体とのフラットな連携】

豊中市内の各分野の中間支援組織が2010年度に「2011とよなかの市民活動ガイドブック」を発行したことを契機に、ゆるやかなネットワークを「共同デスク」と位置づけて、壁新聞の作成や情報交換などを行っています。2022年度は、(公財)とよなか国際交流協会、(一財)とよなか男女共同参画推進財団、(社)豊中市社会福祉協議会、NPO法人とよなかESDネットワーク、当法人の5団体で、意見交換などを4回行いました。

### (4) ESD

【主な費用：指定管理・負担金 事業開始：2004年 他との体制：他団体との連携】

2005年1月より国連「持続可能な開発のための教育(ESD)」の10年が始まり、地域でもこのESDを進めようと、豊中においてNPO、市の外郭組織、市、教育委員会などがゆるやかな連携で取り組んでいます。当法人としては、広い意味での環境学習に資する取り組みとして今後の活動の広がりにつながることを期待し、積極的に参画しています。2022年度は、ESDとよなか連絡会議の会議(3回)への参加を行いました。

ESDとよなか連絡会議参加組織(2022年度)

(公財)とよなか国際交流協会、(一財)とよなか男女共同参画推進財団

NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21、(一財)とよなか人権文化まちづくり協会

NPO法人とよなかESDネットワーク

豊中市(人権政策課・人権平和センター蛍池・環境政策課・千里地域連携センター)

豊中市教育委員会(社会教育課)

### (5) おさがりの会

【主な費用：販売収入(別会計) 事業開始：2016年 他との体制：他団体との連携】

2016年度から、豊中市内で服のリユースに取り組んでいる団体等と意見交換を開始し、2017年度に「おさがりの会」がスタートしました。2018年度からは当法人もおさがりの会の参加団体となりました。2022年度は、環境交流センターで制服や学用品の回収と必要な人へのマッチングを行いました。

おさがりの会

赤ちゃんからのESD、しょうないREK、NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21

実施日	内容
5月8日(日)～ 6月3日(金)	制服・学用品の回収 制服、ランドセル、文具など約350点
10月30日(日)	制服・学用品の販売(親子ぐるぐるフェス) 制服・体操服、楽器、文具など約130点
随時	生活困窮者支援の関係者を通じて、制服などを提供

### (6) 広報活動

【主な費用：負担金 事業開始：1996年(NL) 他との体制：NLは市も原稿提供・校正】

当法人の広報活動としては、ニュースレター(NL)の発行、ホームページの作成・更新、毎月の活動案内の送付、「広報とよなか」への掲載などを行っています。

ア ニュースレター

「とよなか環境ニュースレター」を毎年3～4回程度・各号800部を発行しています。企画・編集は広報チームが行い、月に1回ずつ編集会議や校正会議などを行っています。会員への配布、とよなか市

民環境会議の構成団体や関係団体への送付のほか、豊中市各施設で配布しています。なお、バックナンバーはホームページでも公開しています。

2022年度はスケジュール等の関係で秋号の発行がなく、計3回の発行となりました(No.75～No.77)。

#### イ ホームページ

NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 のホームページを開設し、情報発信を行っています。

ホームページアドレス：<https://toyonaka-agenda21.jp/>

### (7) 他の団体・自治体との連携・交流

#### ア くらしかん登録グループ

豊中市生活情報センターくらしかんの登録グループに登録し、毎月グループ連絡会に参加しています。くらしかん1階の生活情報ひろばでのパネル展や、くらしかんと共催事業などを行っています。

2022年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、悪質商法追放キャンペーンは中止となりました。また、くらしかん祭りも中止となり、かわりに消費者教育フェアが行われました。また、夏休み自然工作の実施は見送りました。

実施日	内容	場所
毎月第3土曜日	地産地消イベント	くらしかん
毎月第4金曜日	くらしかんグループ連絡会	くらしかん
7月1日(金)～29日(金)	パネル展「豊中の自然展」	くらしかん
10月15日(土)	消費者教育フェア	くらしかん
1月4日(水)～30日(月)	パネル展「春の七草展」(実物と写真展示)	くらしかん

※地産地消イベントは通常は毎月第2水曜日ですが、2022年度は施設側の都合により毎月第3土曜日に実施されました。

#### イ その他の参画・構成団体

当法人として豊中市内外の関連する団体やネットワークへ参画・構成しています。

団体・ネットワーク名	地域	形態	備考
島熊山緑地協議会	豊中市内	団体会員	
服部緑地・天竺川周辺「地域の魅力・顔づくりプロジェクト」推進連絡協議会	豊中市内	構成団体	
しょうない REK	豊中市内	参加団体	2022年度末で終了
とよなかゼロカーボン推進協議会	豊中市内	構成団体	2022年度末で終了
ヒメボタル保護者会	豊中市内	構成団体	自然部会として参加
南桜塚校区地域連絡協議会	豊中市内	参加団体	
温暖化防止ネットワーク関西	関西	参加団体	

#### ウ 視察・ヒアリング対応

当法人の取り組みや「豊中アジェンダ 21」について視察・ヒアリングの要望があり、可能な範囲で対応しました。なお、花と緑のネットワークでは、緑と食品のリサイクルプラザの施設見学や生ごみ堆肥化事業などへの視察対応を別途行っています。

実施日	視察者	備考
7月21日(木)	箕面自由学園高校	オンライン対応
12月9日(金)	(株)都市空間研究所(豊中市東西軸活性化に向けた資源調査及び実施計画策定支援業務の受託者)	
12月16日(金)	箕面自由学園高校	

エ その他

実施日	内容	主催	場所
4月20日(水)	ダイエー幸せの黄色いレシートキャンペーン贈呈式(参加)	(株)ダイエー	ダイエー曾根店
4月24日(日)	南桜塚校区地域連絡協議会総会(参加)	南桜塚校区地域連絡協議会	南桜塚会館
4月30日(土)	スプリングフェスタ(出展)	豊中市	花とみどりの相談所
6月11日(土)	島熊山緑地協議会定時総会(参加)	島熊山緑地協議会	西丘小学校
7月2日(土)	インターンシップ事前学習(ゲスト講師)	大学コンソーシアム京都	(オンライン)
7月21日(木)	地域福祉ネットワーク会議(参加)	豊中市社会福祉協議会	(オンライン)
7月27日(水)	しょうないREK 夏休み工作教室(講師)	しょうないREK	庄内公民館
7月28日(木)	地域福祉ネットワーク会議(参加)	豊中市社会福祉協議会	(オンライン)
10月3日(月)	市職員2年目研修(受入)	豊中市	千里中央公園
10月12日(水)	子ども見守り活動隊(参加)	南桜塚校区地域連絡協議会	下原公園
10月17日(月)	市職員2年目研修(受入)	豊中市	千里中央公園
10月27日(木)	とよの地域若者サポートステーション事業(受入)	(一社)キャリアブリッジ	千里中央公園
10月27日(木)	市職員2年目研修報告会(参加)	豊中市	豊中市役所
9月17日(土)	通学路の安全を考えるシンポジウム(共催)	豊中市教職員組合	地域共生センター / (オンライン)
11月12日(土)	みどりのフォーラム(出展)	豊中みどりの交流会2022 実行委員会	ローズ文化ホール
11月20日(日)	クリーンランドジョイントひろば(出展)	豊中市伊丹市クリーンランド	クリーンランド
11月30日(水)	とよの地域若者サポートステーション事業報告会(参加)	(一社)キャリアブリッジ	青少年交流文化館 いぶき
12月7日(水)	市民ボランティア養成講座(講演)	豊中市伊丹市クリーンランド	クリーンランド
1月14日(土)	南桜塚校区地域連絡協議会 新年互礼会(参加)	南桜塚校区地域連絡協議会	うを浅
2月11日(祝)	コープこうべ 虹っ子スクール環境学習会(講師)	コープこうべ	環境交流センター



2月22日(水)	子ども見守り活動隊(参加)	南桜塚校区地域連絡協議会	下原公園
2月24日(金)	地域福祉ネットワーク会議(参加)	豊中市社会福祉協議会	中央公民館
2月26日(日)	世代を超えたSDGs 2030年のその先へ(主催)	豊中市千里地域連携センター	千里文化センター コラボ
2月28日(火)	地域福祉ネットワーク会議(参加)	豊中市社会福祉協議会	市役所別館

## (8) 豊中市政への参加

### ア 審議会・委員会への参加

豊中市の審議会や各種委員会に委員として参加しました。

名称	参加者名	主な内容	出席日(回数)
とよなか市民環境会議	塩見 光夫	豊中アジェンダ 21 の推進	6/15,11/11 (2回)
環境審議会	廣田 学	第3次環境基本計画の進行管理、 中間見直し	7/26,9/2,10/24,12/26 (4回)
廃棄物減量等推進審議会	高島 邦子	第4次一般廃棄物処理基本計画 の中間見直し、第4次ごみ減量 計画の進行管理	8/3,10/24,11/30,2/16 (4回)
食育推進部会	西村 裕	食育推進計画の進行管理	7/4 (1回)
消費者教育推進計画連絡 会議実務担当者会議	塩見 光夫	消費者教育推進計画の進行管理	7/27 (1回)
豊中エコショップ審査員 会	塩見 光夫	エコショップ申請店舗の審査	7/11,10/7,12/13,3/8 (4回)

※出席日にはオンライン参加や書面開催を含む

### イ 意見の提出

豊中市が実施した計画素案などの意見募集(パブリックコメント)に対して、当法人として意見を提出しました。

名称	豊中市の担当部署	提出日	意見 提出数
第4次豊中市総合計画後期基本計画(素案)	都市経営部 経営計画課	12月20日	7件
豊中市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン(素案)及び第3期豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)	都市経営部 経営計画課	12月20日	7件
消費者教育推進計画中間見直し(素案)	市民協働部 暮らし支援課	1月6日	6件
第4次一般廃棄物処理基本計画改定版(素案)	環境部 減量計画課	1月10日	10件
マンション建替型総合設計制度許可取扱要領(改正素案)	都市計画推進部 建築審査課	1月13日	1件
図書館みらいプラン(素案)	教育委員会 読書振興課	2月6日	11件
自治基本条例 運用状況について(素案)	都市経営部 経営計画課	2月7日	4件
第3次環境基本計画改定(素案)	環境部 環境政策課	2月13日	27件

※意見提出数は当法人での提出時の認識のため、市が結果を公表した際の数え方と異なる場合がある

※豊中市の担当部署は提出日時点のもの

### (9) 環境交流センターの運営（指定管理者）

【主な費用：指定管理 事業開始：2013年 他との体制：市や他団体や連携して実施】

2013年4月から「環境交流センター」の指定管理者として運営を行っています。2022年度は基本的に5人の事務局職員（常勤3人、非常勤2人）と2人のアルバイトスタッフで施設の運営や事業の実施に取り組みました。評価対象となる年間の来場者数は15,763人で、2021年度からは大幅に増加しましたが、最高サービス水準の18,000人には及びませんでした。貸室の稼働率は69.9%で、2021年度と同程度でした。

また、2023年度から5年間の運営についての公募が2022年4～7月に行われ、2023年度以降も引き続き当法人が運営することが決まりました。なお、公募に際しては担当理事による検討委員会や打合せを計5回実施しました。

#### ア 施設概要

- ・施設住所 豊中市中桜塚1丁目24番20号
- ・施設規模 床面積658.97㎡
- ・開館時間 9時～17時
- ・休館日 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日以降の最初の平日）、12月29日～1月3日
- ・貸室 会議室1、会議室2、展示スペース（会議室1は3つに分割可能）

#### イ 運営体制

実施期間	内容	参加者数
月1回	運営会議（環境政策課）	—
1月19日（木）、2月16日（木）（2回）	環境交流センター担当理事会 （当法人の担当理事＋事務局）	9人

※公募に関する検討委員会は含まない

#### ウ 来場者数

	一般	会議室等利用		合計	(参考) 昨年度
		環境目的	環境目的以外		
4月	720人	452人	68人	1,240人	661人
5月	763人	289人	12人	1,064人	0人
6月	713人	555人	54人	1,322人	344人
7月	623人	412人	39人	1,074人	1,046人
8月	1,038人	434人	22人	1,494人	1,297人
9月	756人	1,083人	39人	1,878人	1,219人
10月	682人	691人	33人	1,406人	1,155人
11月	830人	433人	4人	1,267人	1,711人
12月	646人	676人	8人	1,330人	1,615人
1月	690人	302人	18人	1,010人	856人
2月	601人	492人	26人	1,119人	828人
3月	751人	808人	0人	1,559人	1,168人
年度通算	8,813人	6,627人	323人	15,763人	11,900人

エ 事業実施（イベントなど）

実施した事業のうち、事務局職員が主となって取り組んだ行事などです。（事業計画書の順番）

項目	実施日	行事名など	参加者数
ファンクラブ制度の運用	6月23日（木）	おしゃべり交流カフェ	7人
	3月8日（水）		21人
	4月7日（木）	ファンクラブ対象の行事（ファンクラブ企画） 2021年度実施のふり返し会	5人
リサイクル工作	8月10日（水）	紙すきではがき作り	7人
	9月7日（水）	子ども用サコッシュ作り	10人
	11月1日（火） 11月2日（水）	制服の寸法直し（2日連続講座）	5人
	12月14日（水）	アップサイクルのポーチを作ろう	3人
	リユースバザー	4月16日（土）	リユースバザー
7月30日（土）		63人	
10月15日（土）		104人	
3月18日（土）		73人	
親子フェスティバル	10月30日（日）	親子ぐるぐるフェス	150人
自然工作	8月11日（祝）	豊中産の竹で作るウグイス笛とセミ太郎	29人
	12月10日（土）	豊中の竹で作るキラキラ万華鏡	33人
おもちゃ病院	4月9日（土）	おもちゃ病院	37人
	5月14日（土）		45人
	6月11日（土）		34人
	7月9日（土）		32人
	8月13日（土）		34人
	9月10日（土）		34人
	10月8日（土）		36人
	11月12日（土）		30人
	12月10日（土）		33人
	1月14日（土）		31人
	2月11日（土）		53人
3月11日（土）	47人		
環境映画祭	1月21日（土）	ちょっとロハスな映画祭	101人
他との連携・出前講座	7月3日（日）	クリーンランド市民講座	9人
	7月3日（日）	クリーンランド出前講座	15人
地球温暖化防止講演会	2月25日（土）	地球温暖化防止講演会	78人
暮らしやモノを考える講座	5月19日（木）	整理収納サークル	5人
	6月16日（木）		4人
	7月21日（木）		6人
	9月15日（木）		3人
	10月20日（木）		5人

	11月17日(木)		5人
	12月15日(木)		4人
	1月19日(木)		3人
	2月16日(木)		0人
	3月16日(木)		5人
	11月20日(日)	繰り返し使える小豆カイロ作り	10人
	5月20日(金)	ゴーヤで緑のカーテン作り	10人
施設間連携スタンプラリー	7月23日(土)	とよなかシネコン For kids 種まきシアター「マイクロプラスチックストーリー」	29人
ESD セミナー	2月19日(日)	アップサイクル工作でSDGs体験をしよう!	40人
	2月26日(日)	地域の高校生と一緒にSDGsについて考えよう!	22人
キッズクラブ(ぴったんこ隊 mini)	8月21日(日)	生きものと私たちのくらしはつながっている?	26人
	8月22日(月)	豊中の自然とふれあおう!	26人
	8月23日(火)	生きものと私たちのくらしを守ろう!	24人
	3月26日(日)	みぢかなごみってどんなもの? リサイクルってなんだろう?	26人
	3月28日(火)	ごみをひろって、調べてみよう!	29人
	3月29日(水)	世界のごみ問題を知って、私たちにできることを考えよう!	24人
サイエンスカフェ	8月20日(土)	水と洗剤を使った環境おもしろ実験	28人
	11月6日(日)	もみ殻生まれのバスボム作り	27人
持続可能な消費に関する講座	2月22日(水)	持続可能な農業と安心安全な食材	34人

※参加者数は当法人の会員や講師、関係者などを含んでいる(職員は除く)

※上記以外に新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった行事がある

## オ 展示

項目	実施期間	内容など
リユースコーナー	6月7日(火)～7月3日(日)	リユース品10点に合計45件の応募
	9月7日(水)～30日(金)	リユース品12点に合計46件の応募
環境ギャラリー	5月8日(日)～6月2日(木)	豊中の自然展「カエル調査・豊中2020」
	7月6日(水)～27日(水)	手作り暮らしの図書展
	10月4日(火)～26日(水)	事業者のSDGs活動の展示
	1月25日(水)～2月22日(水)	あの日を忘れない!～いのちと環境を守り、未来につなごう～
環境基本計画の啓発展示	3月7日(火)～26日(日)	クイズでわかる環境基本計画
リサイクル工作展	8月10日(水)～19日(金)	作品の展示(71件)

カ 施設提供やその他の取り組み（行事・展示以外）

- ・ファンクラブ制度の運用（新規登録 26 人・登録合計 773 人）
- ・ポイントカードの配布
- ・陶器とりかえコーナー
- ・ホームページ・SNS（Twitter、Facebook）の運営  
（Twitter：投稿 520 件、フォロワー数 192 人／Facebook：投稿 295 件、フォロワー数 112 人）
- ・環境交流センターのおしらせ（毎月発行）
- ・リーフレットの配布
- ・多様な媒体や手法による情報の発信
- ・図書などの閲覧・貸出し（貸出 24 件 56 冊）
- ・学生の環境活動の支援
- ・地域との連携強化（20 回）
- ・近隣団体・関係団体との連携
- ・施設内での情報提供（問合せ・相談対応 28 件）
- ・メディアへの情報の発信
- ・施設でのイベント掲示板の設置
- ・コピー、大型プリンター、印刷機、紙折り機の利用  
（コピー64 件、大型プリント 31 件、印刷機 45 件）
- ・打合せなどに伴う物品の貸出し  
裁断機、ラミネーター（フィルム有料）、貸傘、リユースカップ（館内）
- ・回収拠点  
ペットボトル、インクカートリッジ、小型家電、蛍光灯・電池類、傘、ベルマーク
- ・その他の回収物（期間限定）  
絵本の回収 9 月 6 日（火）～30 日（金）  
フタつき空きびんの回収 10 月 1 日（土）～29 日（土）  
こども服の回収 9 月 6 日（火）～30 日（金） 約 600 枚
- ・不用品交換コミュニティボードの運営  
譲りたい 受付 75 件・成立 36 件  
譲ってほしい 受付 15 件・成立 1 件
- ・カレンダーの無料配布  
2 月 8 日（水）～11 日（祝）約 40 点（ネットトヨタニューリー北大阪提供）

キ 重複による省略

環境交流センターの事業のうち、部会・プロジェクトが中心となって取り組んだ内容です。報告はそれぞれの部会・プロジェクトのページに掲載しています。

行事名など	掲載先	行事名など	掲載先
地域こだわりマルシェ&野菜市場	竹炭 花と緑	自然学習講座	自然
おはなし会「わにわに」	企画屋	自然ふしぎ発見クラブ	自然
身近な生き物調査（水鳥一斉調査）	自然	自然環境の保全活動	自然
自然観察会	自然	制服・学用品のリユース	全体

ク 自主事業の取り組み（他と重複していないもの）

- ・飲食物の販売

  - 冷たい飲料（リターナブル瓶入り飲料）、温かい飲料（リユースカップを使ったセルフサービス）
  - 豊中おやつ宣言のおやつ、社会福祉法人 和のクッキー

- ・常設での物品販売

- ・物品の回収

  - 使用済み切手、未使用切手、書き損じハガキ

### 3. 環境プラットフォーム組織

1996年に豊中市長をトップに、市内の事業者・市民団体・行政関係部局など153団体が参加し、とよなか市民環境会議が発足しました。1999年にとよなか市民環境会議が「豊中アジェンダ21」を策定し、4つの部会とワーキンググループに参加する市民が中心となって活動していました。その後、活動の継続と運営体制の問題から、ワーキンググループに参加する市民が自立する形で活動を継続することとなり、2003年に現在の当法人となりました。こうした経過から、当法人は「豊中アジェンダ21」の推進組織として活動を進めるとともに、とよなか市民環境会議と連携して、多くの市民や団体が参加できる環境プラットフォーム組織としても位置づけをしています。

2021年6月のとよなか市民環境会議総会（書面開催）で規約が改正され、当法人はとよなか市民環境会議の事務局を担っている豊中市環境政策課（現在は、ゼロカーボンシティ推進課）との共同事務局になりました。2022年度は、2018年度に策定された「第3次豊中アジェンダ21」の中間見直しが始まりとなり、当法人にて策定委員会の運営や委員参加、市民ワークショップなどの運営を行いました。

その他に、これまでと同様に環境プラットフォーム組織として、当法人の団体会員やとよなか市民環境会議の構成団体をはじめ、多くの団体と連携・協働しました。2022年度に連携・協働した団体数は2021年度と比べると概ね横ばい程度でした。

#### (1) とよなか市民環境会議の共同事務局

【主な費用：(未定) 事業開始：2021年 他との体制：市と役割分担】

2021年6月のとよなか市民環境会議総会（書面開催）で規約が改正され、当法人はとよなか市民環境会議の事務局を担っている豊中市環境政策課（現在は、ゼロカーボンシティ推進課）との共同事務局になりました。ただし、2021年度は当法人と豊中市との共同事務局としての具体的な業務分担やその段取りには至りませんでした。

また、共同事務局では、地域における環境活動の小規模実証実験として、豊中の農と食を市民・事業者が協働で育み、豊中市内の魅力創造やSDGsの取り組みの実践を進めることで、とよなか市民環境会議の活動強化を図ることを議論し、2021年度から小規模に実証実験として試行するための調整等を進めていましたが、2022年度の時点で具体化するには至っていません。

#### (2) 「第3次豊中アジェンダ21」の中間見直し

【主な費用：負担金 事業開始：2022年 他との体制：市と役割分担】

ア 策定委員会

2018年に策定された「第3次豊中アジェンダ21」について、策定から5年が経過したことから、中間見直しを行うこととなりました。2022年9月から80項目の行動提案の見直しなどについて、策定委員会で6回の議論を行いました。「第3次豊中アジェンダ21」の策定主体はとよなか市民環境会議ですが、策定委員会へは当法人の部会・プロジェクトから6人が委員として参加するとともに、策定委員会の事務局を担いました。

実施日	主な内容	場所
9月8日(木)	策定委員会／過去の経過	環境交流センター
11月2日(木)	市民ワークショップ／行動提案の見直し	オンライン／環境交流センター
12月20日(火)	行動提案の見直し	
1月25日(水)	行動提案の見直し／市民ワークショップ	
2月21日(火)	行動提案の見直し／評価方法の見直し	
3月28日(火)	市民ワークショップ／改定版全体	

イ 市民ワークショップ・ロビー展示

「第3次豊中アジェンダ21」の見直しについて、関係者や市民から意見をもらうため、市民ワークショップや市役所でのロビー展示を行いました。ワークショップなどで出された意見は集約し、策定委員会の場で議論を深めました。なお、ロビー展示では当団体の会員が展示対応のスタッフとして分担して協力しました。

実施日	主な内容	対象	場所	参加者数	スタッフ他
10月19日(水)	80項目の行動提案に対するワークショップ	市民環境会議構成団体 当団体の会員	環境交流センター	8人	1人
10月20日(木)				12人	1人
3月15日(水) ～17日(金)	見直しした行動提案(案)に関する展示	一般市民など	市役所第二庁舎ロビー	83人	30人
3月22日(水)	見直しした行動提案(案)に対するワークショップ	一般市民 市民環境会議構成団体 当団体の会員など	環境交流センター	9人	1人
合計	4回			112人	33人

※ロビー展示の参加者数はシール貼りした人数で、スタッフ数は前日準備も含むユニーク数

ウ 第3次豊中市環境基本計画等に関する意見交換等

第3次豊中アジェンダ21と「望ましい環境像」や「環境目標」を共有する「第3次豊中市環境基本計画」の改定について、説明の機会を設けて、パブリックコメントへの意見出しを行いました。

実施日	内容	場所	参加者数
2月9日(木)	第3次豊中市環境基本計画改定(素案)の説明会	環境交流センター	12人

※参加者数は当法人のみの人数

(3)「第3次豊中アジェンダ21」の進行管理

【主な費用：負担金 事業開始：2009年(第2次策定開始) 他との体制：市と役割分担】

ア 第3次豊中アジェンダ21の進行管理

2018年に策定された「第3次豊中アジェンダ21」の80項目の行動提案について、2019年度からとよなか市民環境会議の総会で毎年評価を公表することとなっています。そのため、2022年度の総会において公表する2021年度分の評価の作成に協力しました。

イ 協働の取組みに関する意見交換会

「第3次豊中アジェンダ21」と「第3次豊中市環境基本計画」が共有する環境目標の1つ「よりよい環境をめざして多様な主体のパートナーシップで取り組む」では、協働とパートナーシップの取組みに関する評価方法として、協働の取組みに関する意見交換会を開催することとなっています。

2020年度から、主催がとよなか市民環境会議から豊中市へ変更したものの、「第3次豊中アジェンダ21」が共有する環境目標に関することとして、当法人も引き続き開催に協力しました。

テーマ 持続可能なごみ減量の推進

実施日 6月21日(火)、7月5日(火)(2日間) いずれもオンライン

関わり方 機密書類リサイクルに関する活動の発表(発表団体としての参加)  
グループディスカッションでのファシリテート



**(4) 「とよなか市民環境会議ホームページ運営に関する情報収集等業務」の実施**

【主な費用：委託 事業開始：2020年 他との体制：構成団体との連携】

2020年度にとよなか市民環境会議ホームページが開設されたことを受けて、とよなか市民環境会議構成団体の環境活動について同ホームページに掲載しています。2022年度は当団体の理事が中心となり、7団体の取材や原稿作成などを行いました。

構成団体の活動を紹介するための取材・原稿作成（取材先）

（公財）とよなか国際交流協会、豊中造園建設業組合、豊中市老人クラブ連合会

とよなか消費者協会、豊中市公民分館協議会、特殊車輛整備工業（株）、豊中ロータリークラブ  
（以上7団体、順不同）

**(5) 法人運営での連携**

事業部会に参加している団体会員の中からも法人運営に協力を得ています。2022年度は、理事として生活協同組合コープこうべ大阪北地区本部、および合同食品（株）に、また、監事として大阪ガス（株）に協力をいただきました。

**(6) 全体活動での主な連携**

ア とよなか市民環境展 2022

協賛団体や出展団体として、多くの団体に協力をいただきました。

	全体	関係団体			その他 の団体
		合計	団体会員	構成団体	
協賛団体	18 団体	14 団体	11 団体	11 団体	4 団体
出展団体	34 団体	14 団体	5 団体	12 団体	20 団体

※団体会員と構成団体は重複している団体があるため、合計が一致しない

イ 環境交流センターの運営

出展団体や講師として、多くの団体に連携・協力いただきました。

	全体	関係団体			その他 の団体
		合計	団体会員	構成団体	
協力団体	45 団体	7 団体	3 団体	4 団体	38 団体

※団体会員と構成団体は重複している団体があるため、合計が一致しない

**(7) 部会・プロジェクト活動での主な連携**

ア 部会長としての協力

事業部会の部会長を合同食品（株）に、交通部会の部会長をネットヨタニューリー北大阪（株）に協力いただきました。

イ 事業部会

機密書類リサイクルを通して、2022年度は77団体（個人参加や行政は除く）に参加・協力いただきました。

	全体	関係団体			その他 の団体
		合計	団体会員	構成団体	
機密書類リサイクル	77 団体	16 団体	17 団体	13 団体	60 団体

※団体会員と構成団体は重複している団体があるため、合計が一致しない

ウ 地球温暖化対策プロジェクト

省エネ推進事業の実施を通して、2022年度は商店街など20団体（個人参加や行政は除く）に協力いただきました。

	全体	関係団体			その他の団体
		合計	団体会員	構成団体	
省エネ推進事業	20 団体	6 団体	2 団体	6 団体	14 団体

※団体会員と構成団体は重複している団体があるため、合計が一致しない

#### 4. 生活部会

生活部会は、生活に密着したごみ問題を取り上げることで、豊中市のごみ問題解決に向けてみんなで考える機会を作っていこうと活動を進めています。

##### (1) ごみ問題解決プロジェクト

【主な費用：負担金 事業開始：2021年 他との体制：準備・実施で市と連携】

2022年度は、環境展や環境交流センターにて、スプレー缶などが混入してクリーンランドや収集車で火災が起きていることを取り上げ、家庭ごみの中でも危険ごみの捨て方等改めて市民の皆様に気づいてもらえるよう、展示を行いました。具体的な火災の原因となったバッテリー、携帯電話等の展示とビデオ、パネルによる説明を行いました。

実施日	内容	場所
4月3日(日)～ 5月4日(祝)	「豊中の不燃ごみがよく燃えている」展	環境交流センター
11月25日(金)～ 26日(土)	環境展で不燃ごみに混入した電池等の実物展示とパネルによる解説	豊島体育館

##### (2) 定例会

実施日：毎月第2木曜日 17:00～17:15 場所：環境交流センター

実施日	4/14	5/12	6/9	7/14	8/11	9/8	10/13	11/10	12/8	1/12	2/9	3/9
出席者	3人	3人	3人	3人	3人	3人	3人	3人	3人	2人	4人	3人

## 5. 自然部会

自然部会は発足当初から、豊中に残された貴重な自然を守ることを目標の最も重要な柱として活動してきました。そのため、多くの人に豊中の自然に親しみや関心をもってもらおう事業を展開しています。

2022年度の身近な生き物調べは、「豊中市内の池・川の水鳥一斉調査」を実施しました。本調査は2003年度から5～8年ごとに実施しており、今回が4回目となりました。その間に消失した池もあり、また、出現種の消長も見られ、長期間の水鳥の生息実態の変化を捕えるようにしています。

ツバメのねぐらがある赤坂下池では2019年度から冬のヨシ刈りがなされておらず、セイタカアワダチソウやクズなどの繁茂も目立ち、それらの影響かヨシの生育が悪くなり、2022年度の調査ではツバメの確認数が4,500羽に留まりました。豊中市の担当課を通して池の管理者と調整し、2023年3月に2回の草刈りを実施しました。今後、その成果を確認し、対応を検討いたします。

### (1) 自然観察会

【主な費用：ア指定管理（2013年～） 事業開始：1999年 他との体制：市と協働で実施】

ア 豊中市受託事業 参加者・スタッフの合計数 129人

実施日	内容	場所	参加者数		スタッフ数
			おとな	子ども	
5月17日（火）	春の自然観察会	万博記念公園	8人	0人	4人
7月31日（日）	箕面川の水生生物観察会	箕面川	16人	16人	9人
9月16日（金）	秋の夜の鳴く虫観察会	服部緑地	20人	14人	7人
2月4日（土）	冬の野鳥観察会	服部緑地	23人	2人	10人
合計	4回		67人	32人	30人

### イ その他

実施日	内容	場所	参加者数
5月21日（土） ～29日（日）	ヒメボタル観察会（豊中市主催）	春日町	9人
7月18日（祝）	桜井谷子ども教室ツバメのねぐら観察会	桜井谷小学校 赤坂下池	30人
8月6日（土）	ツバメのねぐら入り観察会（ツバメ 4,500羽）	赤坂下池	39人
合計	3回		78人

※ヒメボタル観察会の参加者数は自然部会のみ的人数

### (2) 連続自然学習講座

【主な費用：指定管理（2013年～） 事業開始：1999年 他との体制：市と協働で実施】

テーマ「豊中の自然を見つめ、みんなで考えよう」

1999年から毎年3回シリーズ（2019・2020年度は2回）で開催しており、通算で70回となりました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、募集の定員を減らして開催しました。

参加者・スタッフの合計数 69人

実施日	テーマ	講師	場所	参加者数	スタッフ数
7月16日(土)	島熊山丘陵の地質・地質図を読む	山崎貞治さん(大阪教育大学名誉教授)	中央公民館	35人	5人
10月23日(日)	豊中のドジョウ、ホントは外来魚?	松井彰子さん(大阪市立自然史博物館学芸員)	環境交流センター	10人	3人
3月25日(土)	地域性種苗を用いたご当地ビオトープ作り	山口勉さん(エスベックミック株式会社)	蛍池公民館	13人	3人
合計	3回			58人	11人

### (3) 自然ふしぎ発見クラブ

【主な費用：指定管理(2013年～) 事業開始：2004年 他との体制：市と協働で実施】

次世代を担う子ども達とその保護者を対象に(5歳以上、小学3年生以下は保護者同伴)、子ども自身が自然のふしぎを発見して、自然の見方、触れ合い方を知ってもらう行事です。

参加者・スタッフの合計数 172人

実施日	テーマ・内容	場所	参加者数		スタッフ数
			子ども	おとな	
4月16日(土)	竹のふしぎ発見と地下茎の観察	千里中央公園	24人	19人	10人
5月21日(土)	原田城跡・勝部遺跡収蔵庫見学と春の自然観察	原田城跡～勝部遺跡収蔵庫～千里川周辺	1人	6人	3人
6月19日(日)	たんぼビオトープの生き物調べ	ふれあい緑地	9人	11人	5人
7月30日(土)	公園でセミの羽化を見てみませんか	千里中央公園	24人	19人	5人
9月25日(日)	バッタなど秋の虫観察会	服部緑地	8人	7人	5人
3月11日(土)	春の萩の寺公園 野草観察と草木染め	環境交流センター	7人	6人	3人
合計	6回		73人	68人	31人

※バッタなど秋の虫観察会は9月23日(祝)に予定していたが、台風接近のため9月25日に延期

### (4) 調査活動

【主な費用：ア負担金、イ指定管理(2013年～) 事業開始：ア2003年 イ2001年

他との体制：イは市と協働で実施】

ア 希少植物調査

2022年度は調査の実施はありませんでした。

イ 身近な生き物調べ「豊中市内の池・川の水鳥一斉調査 2023」

身近な生き物調べとしては水鳥一斉調査をしました。2017年度から5年ぶり、4回目の実施です。

調査期間 2023年1月22日

調査方法 10班に分かれ、豊中市内の36池、11河川おける水鳥と陸鳥を調査

調査員数 33人

まとめ冊子 A4版 44ページ

実施日	内容	場所	参加者数
12月9日(金)～ 20日(火)	事前打合せ(2回)	環境交流センター	10人
1月14日(土)	調査説明会	蛍池公民館	21人
1月22日(日)	水鳥一斉調査	36池、11河川	33人
2月5日(日)～ 3月19日(日)	結果まとめ作業、編集会議、冊子作成 (10回)	環境交流センター	48人
3月21日(祝)	調査報告会	環境交流センター	21人
合計	15回		133人

### (5) 自然を守る活動

ア カシノナガキクイムシ(カシナガ) 侵食から里山林を守る活動 合計8回、参加者27人

【主な費用：負担金 事業開始：2012年 他との体制：各団体と連携、市と調整】

2012年に大阪大学キャンパス内の里山林にカシナガ侵食によるナラ枯れが発生。カシナガ侵食木を被覆し被害を最小に抑えるため、ネットワーク参加団体(後述(6))や行政と協働で活動を続けてきた結果、概ね終息方向に向かっています。2022年度は、第一千里緑地と千里中央公園において調査やネット巻きや撤去を引き続き実施しました。

・第一千里緑地

実施日	内容	参加者数
4月14日(木)	カシナガ侵入木調査、ネット被覆と補修作業	6人
11月11日(金)		5人
12月16日(金)		6人
合計	3回	17人

・千里中央公園

実施日	内容	参加者数
1月9日(祝)	ネット外し作業	3人
1月13日(金)		1人
2月6日(月)		2人
2月20日(月)		2人
3月6日(月)		2人
合計	5回	10人

イ 自然を守る活動(その他) 全体合計36回、参加者184人

【主な費用：負担金・委託 事業開始：2001年 他との体制：地域各団体と連携、市と調整】

島熊山緑地整備は島熊山緑地協議会の団体会員として、春日町竹林・草地整備はヒメボタル保護者会の構成団体として参加、整備活動を続けています。

赤坂下池は大阪府内のツバメのねぐらとして貴重な赤坂下池保全の要望書を2012年に提出以後、自然観察を続けています。また、3月には枯れたヨシやクズ等の刈り取り作業を2回実施しました。

・島熊山緑地（林床整備、竹林整備、カシナガ侵入木手当、自然観察会） 合計 16 回、参加者 100 人

実施日	自然部会 の参加者数	協議会全体 の参加者数	実施日	自然部会 の参加者数	協議会全体 の参加者数
4月9日（土）	8人	57人	7月8日（金）	8人	21人
4月16日（土）	3人	30人	9月9日（金）	6人	19人
4月23日（土）	8人	45人	10月8日（金）	6人	26人
4月30日（土）	6人	27人	11月12日（土）	7人	46人
5月7日（土）	3人	18人	12月10日（土）	8人	26人
5月13日（金）	6人	14人	1月13日（金）	7人	24人
5月21日（土）	2人	13人	2月11日（土）	7人	28人
6月4日（土）	7人	21人	3月10日（金）	8人	27人
			合計	100人	442人

・赤坂下池（定期観察、草刈りの準備・実施） 合計 11 回、参加者 34 人

実施日	5月25日（水）	6月29日（水）	7月17日（木）	7月27日（水）
参加者数	2人	1人	1人	1人
実施日	8月11日（木）	8月24日（水）	9月14日（水）	11月21日（月）
参加者数	1人	2人	2人	2人
実施日	2月21日（火）	3月9日（水）	3月28日（火）	
参加者数	3人	10人	9人	

※2月21日は草刈りの打合せ、3月9日・28日は草刈りの実施

・春日町（ヒメボタル育成地整備） 合計 8 回、参加者 49 人

実施日	9月28日（水）	10月26日（水）	11月16日（水）	12月14日（水）
参加者数	5人	7人	7人	6人
実施日	1月25日（水）	2月15日（水）	3月8日（水）	3月17日（金）
参加者数	4人	7人	7人	6人

・その他（草刈、清掃など）

天竺川清掃（みどり橋） 9月15日（木） 4人

ウ 自然環境の保全活動 全体合計 2 回、参加者・スタッフの合計数 42 人

【主な費用：指定管理 事業開始：2018 年 他との体制：市と協働で実施】

・豊中里地探訪

実施日	内容	場所	参加者 数	スタッ フ数
4月21日（木）	豊中の里地探訪「北条町から天竺川堤防・花咲く桐の大樹」	服部天神駅～北条町～天竺川	23人	4人

・豊中の自然を守る

実施日	内容	場所	参加者 数	スタッ フ数
11月15日（火）	猪名川自然林の保全作業と自然観察	猪名川自然林	10人	5人

(6) 豊中の自然を保全・復元する活動団体ネットワーク (2007年全労済地域貢献助成事業の継続)

【主な費用：負担金 事業開始：2007年 他との体制：地域各団体と連携】

ネットワーク参加団体 11団体

NPO 法人豊島北ビオトープクラブ、どんぐり山を守り育てる会、上野丘自治会まちづくり委員会  
ヒメボタル保護者会、羽鷹池を守る会、島熊山緑地協議会、服部緑地の自然を育てる会

大阪大学キャンパスデザイン室、島熊山の雑木林を守る会

大阪府立刀根山高校環境整備委員会生物エコ部

NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 (自然部会・竹炭プロジェクト)

実施日	内容	場所	主催団体	参加者数
毎月第1水曜日 (8月を除く)	島熊山緑地協議会役員会	西丘小	島熊山緑地協議会	32人
6月11日(土)	島熊山緑地協議会総会	西丘小	島熊山緑地協議会	4人
6月15日(水) 7月13日(水) 9月14日(水)	ヒメボタル保護者会役員 会	野畑図書館	ヒメボタル保護者会	6人
10月21日(金)	ビオトープ手入れと観察	上野坂第4公園	自然部会	7人
適時	ニューズレターの送付、相互の活動状況や行政の 環境情報提供(特に生物多様性等の情報交換、ナ ラ枯れ対策に伴う有効な作業、情報交換や支援)		自然部会	—
合計		16回		49人

※参加者数はいずれも自然部会のみ的人数

(7) 未来の森づくり

【主な費用：負担金 事業開始：2008年 他との体制：植樹先を市と調整】

豊中産の樹木(苗)でみどりを創出する事業です。2008~2017年度には、環境展で竹ポットにドン  
グリの植え付けを呼びかけ、自宅で苗を育て、1年半後に持ち寄って植えていました。豊中市の協力の  
もと市民力による生物多様性の豊かな森づくりは重要で、事業は継続したいものの、植樹する場所の確  
保が困難であることから、豊中市のさらなる協力が必要です。

2022年度は、過去に植樹を実施した樹木の生育状況について観察を行いました。

実施日	内容	場所	スタッフ数
10月21日(水)	植樹した樹木の生育観察	千里中央公園	10人

(8) その他

実施日	内容	場所	スタッ フ数
5月7日(土)~ 6月3日(金)	豊中の自然展「カエル調査2020」パネル展	環境交流センター	4人
7月1日(金)~ 31日(日)	パネル展「豊中の自然展 天竺川の生物」	くらしかん	3人
8月11日(木)	自然工作教室(豊中市産の竹で作るウグイス 笛とセミ太郎)	環境交流センター	6人
11月12日(土)	みどりのフォーラム(パネル展示)	ローズ文化ホール	—



11月25日(金) 26日(土)	とよなか市民環境展 パネル展「天竺川調査」 「ツバメのねぐら」、自然工作	豊島体育館	17人
1月4日(水)～ 30日(月)	春の七草展(写真展示)	くらしかん	4人
合計	6回		34人

### (9) 自然調査データ集積事業

【主な費用：負担金 事業開始：2011年 他との体制：現時点では単独で実施】

「生物多様性豊中戦略」策定をめざして、「新修豊中市史(自然編)」、「身近な環境しらべ報告書」(豊中市発行)、身近な生き物しらべ報告書(自然部会と市民が調査した2003～2021年度のまとめ冊子)、「希少植物調査-レッドデータブック豊中-」、「タンポポ調査豊中」などのデータを集積する事業です。2022年度の調査まとめ冊子について、市内の教育機関や関係各所へ送付し、情報提供を行いました。

### (10) 定例会・研修会

毎月1回定例会部会を開催、年間事業活動に合わせ、企画担当者が提出した事業計画案をもとに検討・決定・実行しています。パートナーシップのもと、豊中市職員が必ず参加して、活動情報は部会員と豊中市で共有するとともに、活動をより活発化するため、担当者報告・参加者の感想なども欠かさず報告しています。また、世界、日本、地域の自然に関する幅広い情報の提供や意見交換を行い、特に地域の緊急情報が寄せられたときはすぐ行動し、「豊中の自然が無くなってしまうことのないよう」に力をあわせて活動しています。

#### ア 定例会

実施日：毎月第1金曜日 13:30～16:00 場所：くらしかん 合計12回、参加者145人

実施日	4月8日(金)	5月6日(金)	6月10日(金)	7月1日(金)	8月6日(金)	9月3日(金)
部会員	10人	15人	12人	11人	11人	11人
その他	1人	1人	1人	1人	1人	4人
実施日	10月1日(金)	11月5日(金)	12月3日(金)	1月7日(金)	2月4日(金)	3月4日(金)
参加者数	13人	11人	13人	12人	13人	13人
その他	1人	1人	1人	1人	1人	2人

※基本は第1金曜日だが、会場が取れない場合は前後の可能な日程で実施

※その他は豊中市職員、事務局、インターンシップ生など 計16人

#### イ 研修会・見学会

実施日	内容	場所	参加者数
3月30日(火)	京都府立植物園の見学	京都府立植物園	9人

#### ウ 要望書

2022年度は新たな要望書の提出はありませんでした。

## 6. 事業部会

2022年度は、2021年度に引き続き、SDGs勉強会を4回シリーズで開催しました。参加メンバーの定着化も見られ、勉強会の輪が少しずつ広がってきています。勉強会への参加だけでなく、協力し合える仲間となれるように進めていくことで、事業部会の活動を充実させていきます。また、2021年度にSDGs勉強会を紹介するホームページを作成・公開したことを受けて、2022年度はページの運営を図りました。

機密書類リサイクルは搬入量が少しずつ増加しており、毎回10トン車2台で運搬する事業となりました。

### (1) 機密書類リサイクル

【主な費用：事業収益 事業開始：2005年 他との体制：商工会議所や市と協働で実施】

収集場所 豊中市伊丹市クリーンランド

処理業者 西日本衛材（株）（兵庫県たつの市）

証明書発行 計量証明書・溶解証明書

協力 豊中商工会議所、豊中市事業ごみ指導課、豊中市伊丹市クリーンランド

実施日	搬入量	参加者	スタッフ数
4月21日（木）	15,950 kg	60件（事業者50件・幼稚園10件）	3人
10月6日（木）	11,150 kg	46件（事業者38件・幼稚園8件）	4人
4月14日（木） 8月23日（火） 9月29日（木） 2月17日（金）	—	関係者打合せ	8人
合計	27,100 kg	106件（事業者88件・幼稚園18件）	15人

※搬入量の合計27,100kgは、トイレトペーパー約57,000個分の古紙原料に相当（当法人概算）

※スタッフ数はアジェンダのみの人数

### (2) 学習会

【主な費用：部会の他収入 事業開始：2000年 他との体制：準備・実施で市と連携】

ア SDGs勉強会

実施日	内容	場所	参加者数	スタッフ数
4月16日（土）	【第1回】 事業者にとってSDGsはビジネスチャンス 講師：GCNJ分科会推進委員長 桑原崇さん カーボンニュートラルの実現に向けて 講師：環境省近畿地方環境事務所 福島慶三さん グループディスカッション	オンライン	17人	3人
7月15日（金）	【第2回】 SDGs経営でステークホルダーから選ばれるために必要なこと 講師：EMIELD（株）代表 森優希さん	オンライン ／環境交流センター	14人	4人

9月9日(金)	【第3回】 水の危機にどう対応するか 講師：東北大学大学院国際文化研究科准教授 佐藤正弘さん グループディスカッション	オンライン ／環境交流 センター	18人	4人
10月26日(水)	【第4回】 SDGs 勉強会参加事業者による成果発表会 発表：カシオ計算機(株)、合同食品(株) 藤本電業(株)、三国製薬工業(株) 生活協同組合コープこうべ	環境交流セ ンター	16人	3人
10月4日(火) ～26日(水)	パネル展示(環境交流センターの環境ギャラリーの 一環として紹介)	環境交流セ ンター	—	—
11月25日(金) 26日(土)	とよなか市民環境展 2022 でのパネル展示	豊島体育館	—	—
合計	6回		65人	14人

イ eco 検定受験対策セミナー

実施日	場所	参加者数	スタッフ数
6月11日(土)	環境交流センター	6人	2人
10月15日(土)		2人	2人

※関西学院大学の大学生が講師体験

(3) 打合せ等

実施日	4月13日(水)	4月27日(月)	7月11日(月)	7月13日(水)
参加人数	4人	4人	4人	4人
実施日	9月20日(火)	12月8日(木)	2月23日(木)	
参加人数	4人	4人	4人	

※いずれもオンラインで実施

## 7. 交通部会

### (1) 自転車バランス王座決定戦

【主な費用：負担金 事業開始：2010年 他との体制：地域団体や学校などと連携】

子どもなどを対象に、「自転車バランス王座決定戦」を市内の行事で開催しました。このイベントを通して、自転車に乗った際のバランス感覚を養うとともに、自転車利用の促進や利用のマナーを伝えました。2022年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響でイベントの開催が限られていたことなどから、実施することができませんでした。

### (2) 踏み間違い時サポートブレーキ体験

【主な費用：負担金 事業開始：— 他との体制：事業者との連携】

ネッツトヨタニューリー北大阪と連携し、自動ブレーキをはじめとする予備安全機能を備えた自動車を使い、アクセルとブレーキを踏み間違えた際のサポートブレーキ体験を新たに計画していましたが、2022年度も新型コロナウイルス感染症の影響などにより、実施することができませんでした。

## 8. 竹炭プロジェクト

自然環境の保全を目的とし、千里中央公園の竹林整備とあわせて千里緑地（新千里北町1丁目～2丁目）にある竹林の竹切りや竹林整備を行ってきました。この竹の間伐で得られた竹を使い、千里中央公園で竹炭焼きも実施してきました。できた竹炭や竹酢液は市内の各種イベントで有料配布し、多くの市民に活用してもらっています。西側林内の小池ではモリアオガエルの産卵活動が継続して観察されており、貴重な植物も細々ながら成育を続けています。

### (1) 竹の間伐作業（新千里北町1丁目～2丁目、千里中央公園）

【主な費用：負担金・有料配布収入 事業開始：2008年（北町）・2002年（千中）

他との体制：市管理の緑地や公園で実施】

実施日	場所	メンバー	体験者数	切った竹概数	若竹切り概数
4月4日（月）	千里中央公園	22人		22本	65本
4月7日（木）	千里中央公園	17人	3人	10本	60本
4月11日（月）	千里緑地（北町）	16人		20本	120本
4月18日（月）	千里中央公園	2人	1人	8本	16本
4月19日（火）	千里中央公園	10人	1人	35本	
4月25日（月）	千里緑地（北町）	16人		35本	90本
5月2日（月）	千里中央公園	14人		40本	
5月9日（月）	千里中央公園	12人		50本	
5月19日（木）	千里中央公園	3人		5本	
6月9日（木）	千里中央公園	14人	4人	20本	
6月20日（月）	千里緑地（北町）	13人		53本	
7月8日（金）	千里緑地（北町）	11人		18本	
7月9日（土）	千里中央公園	9人	8人	30本	
7月25日（月）	千里中央公園	15人		15本	
8月4日（木）	千里緑地（北町）	11人	13人	1本	
8月22日（月）	千里中央公園	15人	6人	30本	
9月8日（木）	千里緑地（北町）	8人		10本	
9月12日（月）	千里中央公園	2人		3本	
9月15日（木）	千里中央公園	9人		8本	
10月3日（月）	千里中央公園	4人	5人	13本	
10月17日（月）	千里中央公園	6人	5人	12本	
10月21日（金）	千里中央公園	6人		18本	
10月24日（月）	千里中央公園	12人		19本	
10月27日（木）	千里中央公園	10人	11人	30本	
11月10日（木）	千里緑地（北町）	8人		20本	
11月14日（月）	千里中央公園	11人	1人	25本	
11月21日（月）	千里中央公園	15人		50本	
12月12日（月）	千里中央公園	7人	3人	40本	
12月19日（月）	千里緑地（北町）	11人		40本	
1月9日（月）	千里中央公園	9人	1人	8本	
1月13日（金）	千里中央公園	5人		15本	

1月19日(木)	千里緑地(北町)	11人		25本	
2月6日(月)	千里中央公園	3人		12本	
2月9日(木)	千里中央公園	10人	5人	30本	
2月14日(火)	千里中央公園	8人		10本	
2月17日(金)	千里緑地(北町)	11人		35本	
2月20日(月)	千里中央公園	7人		20本	
2月21日(火)	千里中央公園	7人		12本	
3月2日(木)	千里中央公園	1人		3本	
3月13日(月)	千里中央公園	9人		40本	
3月24日(金)	千里中央公園	4人		10本	13本
3月31日(金)	千里緑地(北町)	15人			100本
合計	42回	409人	67人	900本	464本

2022年3月31日(2021年度末)までの通算27,822本(若竹除く)

2023年3月31日(2022年度末)までの通算28,722本(若竹除く)

※林内整備もあわせて実施

## (2) 竹炭焼き(千里中央公園 野外炊さん場)

【主な費用:負担金・有料配布収入 事業開始:2002年(千中)】

間伐した竹の有効活用として、竹炭づくりに適した竹材を選び、ドラム缶を改造して作った窯で蒸し焼き(乾留)にしています。窯入れ日(1日目)、窯出し日(2日目)とも、間伐や竹林整備、次回の用材づくり、清掃、竹製品作りなど、様々な作業を並行して実施しました。現在の悩みはできた竹炭の保管場所に余裕がなく窯炊きの回数を減らさざるを得ないことです。

実施日	内容	メンバー	体験者数	備考
4月18日(月)	竹炭焼き	16人	1人	2窯
4月19日(火)	窯出し	16人	1人	
5月19日(木)	竹炭焼き	16人		2窯
5月20日(金)	窯出し	18人		
9月15日(木)	用材作り	9人		
9月26日(月)	竹炭焼き	14人	1人	2窯
9月27日(火)	窯出し	15人	1人	
12月15日(木)	竹炭焼き	13人	10人	2窯
12月16日(金)	窯出し	12人	3人	
2月14日(火)	用材作り	8人		
2月20日(月)	竹炭焼き	13人	6人	1窯
2月21日(火)	窯出し・用材作り	10人	1人	
3月24日(金)	竹炭焼き	11人	1人	2窯
3月25日(土)	窯出し	11人	3人	
合計	6回	165人	28人	竹炭焼き、窯出しのみ
	8回	182人	28人	用材の準備を含む

※合計の回数について、竹炭焼きと窯出しはセットで1回とカウント

### (3) 竹林整備

【主な費用：負担金・有料配布収入 事業開始：2005年（千中）

他との体制：市管理の公園で実施】

林内、林縁の見栄えが良くなるよう、雑木・笹・草などを刈り取る作業をしました。2021年度には確認できた野生動物は2022年度には形跡がなかったため、2021年度に放置したエリアも整理しすっきりとさせる作業を行いました。モリアオガエルの生息地付近は池に繁茂した藻や落ち葉の除去を行いました。

実施日	内容	場所	メンバー
5月23日（月）	竹置き場整理	千里中央公園	15人
6月20日（月）	竹置き場整理	千里緑地（北町）	13人
7月8日（金）	竹置き場整理	千里緑地（北町）	11人
7月25日（月）	土留め補修など	千里中央公園	15人
8月4日（木）	雑草除去	千里緑地（北町）	11人
9月8日（木）	雑草除去	千里緑地（北町）	8人
11月14日（月）	林内整理	千里中央公園	11人
12月5日（月）	クズ刈り	千里中央公園	11人
1月9日（月）	林内整理	千里中央公園	9人
1月13日（金）	小池周辺整備	千里中央公園	5人
2月6日（月）	ナラ枯れ点検	千里中央公園	2人
2月14日（火）	西斜面草刈り	千里中央公園	8人
3月2日（木）	西斜面草刈り	千里中央公園	11人
3月6日（月）	ナラ枯れ点検	千里中央公園	2人
3月25日（土）	炊さん場排水	千里中央公園	4人
合計	15回		136人

### (4) 製品作り（千里中央公園）

【主な費用：有料配布収入 事業開始：2002年（千中）

他との体制：市管理の公園事務所内で作業】

竹炭や竹酢液を製品化し、消臭・水の浄化・園芸用の土壌改良剤などとして市民の方に利用していただいています。また、メンバーのアイデアにより間伐材を使った竹製品・アクセサリーを作り、一緒に有料配布しました。

実施日	内容	メンバー
4月4日（月）	竹酢液の精製	1人
7月4日（月）	竹酢液の精製	1人
8月1日（月）	竹製品（モックン他）	11人
9月5日（月）	竹炭（飲料用他）	11人
9月12日（月）	竹製品（ぶんぶんゴマ他）	11人
9月22日（木）	竹製品（竹けん玉）	5人
9月26日（月）	竹製品（コップリ）	10人
10月3日（月）	遊具の補修	7人
10月4日（火）	竹炭（消臭用他）	8人
10月17日（月）	キャンドルポット	11人
10月24日（月）	キャンドルポット	12人

10月27日(木)	キャンドルポット	20人
10月28日(金)	キャンドルポット	8人
10月31日(月)	キャンドルロード用品	7人
11月7日(月)	竹炭(消臭用)	6人
2月6日(月)	竹炭(飲料用他)	7人
3月6日(月)	竹炭(飲料用、園芸用)	8人
合計	17回	144人

※上記以外にメンバー個人が手の込んだ竹細工・竹容器・干支人形などの作品を製作し、市民に披露するとともに要望があれば有料配布しました。

### (5) 子ども対象イベント

【主な費用：有料配布収入 事業開始：2017年 他との体制：市管理の公園で実施】

実施日	内容	場所	参加者数	メンバー
12月11日(日)	たのしいリース作り	千里中央公園	19人	6人
3月25日(土)	窯出し見学と自然工作	千里中央公園	17人	11人

### (6) イベント参加

【主な費用：有料配布収入 事業開始：2002年 他との体制：各主催者と調整】

各種イベントに参加して、竹炭製品・竹酢液・竹製品の有料配布や自然工作活動、遊具の提供提供などを行ってきました。2022年度は開催されるイベントが徐々に増えてきたことで啓発を広げていける兆しを感じられました。

実施日	イベント名	場所	メンバー	有料配布参加者	工作参加者	備考
4月2日(土)	マルシェ&野菜市場	交流センター	1人	10人		
4月16日(土)	地産地消イベント	くらしかん	1人	7人		
4月30日(土)	スプリングフェスタ	花とみどりの相談所	8人		30人	竹けん玉、モックン
5月7日(土)	マルシェ&野菜市場	交流センター	2人	14人		
5月21日(土)	地産地消イベント	くらしかん	2人	12人		
6月4日(土)	マルシェ&野菜市場	交流センター	1人	25人		
6月18日(土)	地産地消イベント	くらしかん	2人	12人		
7月2日(土)	マルシェ&野菜市場	交流センター	2人	13人		
7月16日(土)	地産地消イベント	くらしかん	2人	6人		
8月6日(土)	マルシェ&野菜市場	交流センター	2人	7人		
8月20日(土)	地産地消イベント	くらしかん	1人	14人		
9月3日(土)	マルシェ&野菜市場	交流センター	2人	8人		
9月17日(土)	地産地消イベント	くらしかん	1人	2人		
10月1日(土)	マルシェ&野菜市場	交流センター	2人	6人		
10月15日(土)	くらしかんまつり	くらしかん	1人	11人		
10月15日(土)	とよっぴーフェスタ	リサイクルプラザ	6人	48人	25人	ブンブンコマ、えんぴつ遊具人80人
11月5日(土)	マルシェ&野菜市場	交流センター	1人	2人		



11月5日(土)	千里キャンドルロード	千里南公園	16人	150人		
11月19日(土)	地産地消イベント	くらしかん	1人	11人		
11月25日(金) 26日(土)	環境展	豊島体育館	18人	100人	200人	ブンブンコマ、えんぴつ
12月3日(土)	マルシェ&野菜市場	交流センター	1人	4人		
12月17日(土)	地産地消イベント	くらしかん	1人	19人		
1月7日(土)	マルシェ&野菜市場	交流センター	1人	4人		
1月21日(土)	地産地消イベント	くらしかん	2人	13人		
2月4日(土)	マルシェ&野菜市場	交流センター	1人	7人		
2月18日(土)	地産地消イベント	くらしかん	1人	16人		
3月4日(土)	マルシェ&野菜市場	交流センター	2人	9人		
3月18日(土)	地産地消イベント	くらしかん	2人	9人		
合計	28回		83人	539人	255人	

※これらの他、環境交流センターでの常設有料配布により年間で約80人が竹炭等を購入

※竹炭製品286個、竹酢液82個、その他作品201個（環境交流センターの常設有料配布を含む）

#### (7) 会議など

実施日	内容	場所	参加者数
5月20日(金)	年間活動計画について	千里中央公園	18人
6月6日(月)	アジェンダ活動について	千里中央公園	8人
6月13日(月)	ボランティア活動のありかたについて	交流センター	4人
9月27日(火)	各種行事の参加確認	千里中央公園	15人
11月14日(月)	行事中間反省会	千里中央公園	4人
3月31日(金)	新年度に向けて、直近イベントについて	千里中央公園	5人
合計	6回		54人

#### (8) 協力活動

##### ア 行事などの協力

実施日	内容	場所
4月12日(火)	自然部会「竹のふしぎ発見と地下茎の観察」に協力	千里中央公園
6月18日(土)	「団欒子ども食堂」にて自然工作で協力	団欒長屋
8月11日(木)	環境交流センター「豊中産の竹で作るウグイス笛とセミ太郎」で自然部会と協力	環境交流センター
9月23日(金)	自然部会「バッタなど昆虫観察」に協力	千里中央公園
12月10日(土)	環境交流センター「豊中の竹で作るキラキラ万華鏡」で自然部会と協力	環境交流センター

#### イ 活動体験など現地での受け入れ協力

実施日	内容	団体名
8月22日(月)	竹切り体験	アジェンダインターンシップ生
10月3日(月)	職員2年目研修(竹切り体験)	豊中市
10月17日(月)	職員2年目研修(竹切り、ポット作り体験)	豊中市
10月27日(木)	就労体験(竹切り、ポット作り)	(一社) キャリアブリッジ

#### ウ 各種団体や地域住民への竹材などの提供

実施日	内容
5月19日(木)	ポッポ保育園(尼崎市)へ遊戯用に竹4本(3.5m)を提供
7月9日(土)	ボーイスカウトへ工作、そうめん流し用に竹32本を提供
10月28日(金)	近隣の方へ竹筒2個を提供
10月31日(月)	近隣の方へ楽器作り用に竹1本を提供
11月11日(金)	近隣の方へ箸作り用に竹1本を提供
11月19日(土)	近隣の方へ工作用に竹2本を提供
3月13日(月)	エイチ・ツー・オーリテイリング(株)主催のワークショップグループへ竹切り体験用に竹50本(2.5m)を提供

#### (9) ホームページの更新、広報活動

竹炭プロジェクトの活動を多くの市民に知っていただくとともに、会員の増えることを願って、2か月ごとにホームページを更新しています。自由工作日も紹介し千里中央公園を訪れていただけるよう工夫もしました。広報とよなかで竹切りや竹炭焼きの体験募集を掲載し、自然豊かな千里中央公園への理解を一層深めてもらっています。

#### (10) 自由工作日

毎月第1月曜日を自由に参加できる工作日として設定しています。会員のみならず近隣の住民のみなさんに竹を使った工作を楽しんでいただく機会となっています。2022年度は、近隣の方11人の利用がありました。

#### (11) 清掃活動

【主な費用：別会計 事業開始：2007年 他との体制：市とプロジェクトの自主管理協定】

豊中市との自主管理協定に基づき、千里中央公園の竹林内と林縁を毎月2回、1回につき約30分、3～4人でごみ拾いを行っています。中身の残ったままのスプレー缶、ウォーターウエイト、バッテリー、簡易テント、アイスボックス、リールなど不法投棄に驚くばかりです。小さな力ですが、これからも公園美化に努めていきます。

## 9. 企画屋本舗

企画屋本舗では幼少期からの環境教育・環境学習が必要と考え、子どもと親（保護者）と一緒に自然観察会やワークショップなどを行っています。カメラを通して“環境”を見つめ直し、クラフト作りとの相互作用で、新たな発見をしていこうとする「写真で元気」と、リサイクル工作などを行う「わいわいクラブ」は、イベントへの出展をする形で一緒に実施しました。また、乳幼児の親子を対象にした絵本の読み語りと簡単なリサイクル工作の「たのしいおはなし会 わにわに」を実施しました。

その一方で、体感や体験を通じて環境問題を考える「環境びっくり箱 親子で楽しむエコツアー」は、内容を企画したものの、新型コロナウイルス感染症対策なども考慮し、実施には至りませんでした。

定例会は参加しやすい平日の夜に設定しています。立場の違うメンバーだからこそ幅広い発想や情報を活用した企画や、専門性を活かした取り組みを継続してきました。

### (1) 定例会 曜日・時間：第2木曜日の17:15～19:00 場所：環境交流センター

実施日	4/14	5/12	6/9	7/14	8/11	9/9	10/13	11/10	12/9	1/12	2/9	3/9
出席者	5人	4人	5人	5人	5人	4人	5人	5人	5人	4人	6人	6人

### (2) 環境びっくり箱 親子で楽しむエコツアー

【主な費用：負担金・参加費 事業開始：2005年 他との体制：準備・実施で市と連携】

学齢期の子供と保護者を対象にしたエコツアー。内容は多様な切り口で楽しみながら環境問題を捉えることで、興味を引き寄せ、さらに行動へと繋げることをめざしています。毎年夏休みの自由研究に役立ちたいとツアーを企画していますが、2022年度も新型コロナウイルス感染症の影響によるマイクロバスの利用などの観点から中止としました。

### (3) たのしいおはなし会 わにわに

【主な費用：指定管理 事業開始：2013年 他との体制：準備・実施で市と連携】

0歳からの乳幼児と保護者を対象にして、絵本や紙芝居の読み語りと簡単なリサイクル工作を実施しました。子育て中の若い親子の参加は楽しい空気を作り出し、ソフトな環境教育の場になっています。

この取り組みが参加者同士の交流に繋がり、憩いの場となり、さらには参加者自らが立案した企画が実施できないか、引き続き検討していきます。

2022年度は10月の「親子ぐるぐるフェス」に参加したため、計6回の実施となりました。通常開催では参加者を親子7組に限定し、感染症対策を徹底の上、2021年度には見合わせていた簡単なリサイクル工作も実施しました。

実施日	6月12日	8月7日	10月9日	10月30日	12月18日	2月12日	合計
参加者数	13人	13人	5人	31人	7人	4人	73人
スタッフ	3人	3人	3人	3人	3人	3人	18人

※日曜日の10:30～11:30で実施（10月30日を除く）

※10月30日は親子ぐるぐるフェスにて実施

### (4) 写真で元気！

【主な費用：負担金・参加費 事業開始：2015年 他との体制：講師や物品で他団体と連携】

自然環境や、社会・生活環境に着目して写真を撮り、撮った写真をプリントし、それぞれがクラフトを作成して、作品発表しました。創造的で自由な表現をすることにより、自己を見つめ、開放し元気になってゆきます。（一社）日本写真療法家協会とコラボレーションで行い、プリンターや、クラフト作りの台紙や、飾りつけの材料の提供を受け、協会のファシリテーターの派遣を受けて実施してきました。

なお、(一社)日本写真療法家協会は、2021年6月で解散しましたが、提供を受けていたクラフト作りの台紙などを引き継ぎ、今後もこの取り組みで使用していきます。

2022年度は単独での行事实施ではなく、クリーンランド開放デーに参加し、出展ブースにて実施しました。

実施日	内容	場所	参加者数	スタッフ数
8月21日(日)	クリーンランド開放デーでの実施	クリーンランド	11人	5人

#### (5) わいわいクラブ講座～地球温暖化防止と省資源・循環の暮らしを推進しよう

【主な費用：負担金・参加費 事業開始：2010年(生活部会) 他との体制：講師で他団体等と連携】

2020年度より生活部会から引き継いだ「わいわいクラブ」は、2022年度は単独での行事实施ではなく、クリーンランド開放デーに参加し、出展ブースにて「写真で元気」とあわせて実施しました。

実施日	内容	場所	参加者数	スタッフ数
8月21日(日)	牛乳パックを使ったジャンボコマ作り	クリーンランド	35人	5人

※写真で元気とあわせて実施のため、スタッフは重複している

## 10. 花と緑のネットワーク

2022年度は新型コロナウイルス感染症の影響がほぼなくなり、通常どおりの活動を展開しました。

### (1) 定例会 曜日：毎月第2火曜日 場所：環境交流センター

新しい会員とのコミュニケーション会議も設け、活動の全体像を把握してもらう努力をしています。活動が多岐にわたるため1時間30分程度を要しています。前月の活動実績を共有し、次月の活動内容や諸体制を確認する場として定着しており、プロジェクトとして最も大切な会議と認識しています。欠席会員へのメール等での資料送付も行っています。

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
出席者(人)	12	16	18	14	13	13	12	16	20	16	14	14

### (2) 「とよっぴー」の製造量と利活用の実績

【主な費用：基金収入 事業開始：2003年 他との体制：市と協働で実施】

プロジェクト活動の根幹は「とよっぴー」製造とそれに伴う資源循環啓発事業の展開です。緑と食品のリサイクルプラザで製造した土壌改良材を多面的に利活用することで、地域内資源循環のモデル形成の領域を広げています。

月2回の定期配布を前提に計画通りの18回を実施しました。10kgは60,160kg（前年度57,756kg）を配布、購入者数は1,117人（前年度964人）で、それぞれ前年度より増加し、購入者数は1千人台を回復しました。認知度アンケート調査でも好評を得ており、回復の基調に戻っています。

出先での有料配布は、環境交流センターをはじめ、千里西町の笹部書店、クリーンランドの3Rセンターに加えて、新たに千里南町風ファームが増えました。また、さわ病院での野菜市、くらしかんにおける地産地消イベント、千里コラボの朝市でも有料配布を毎月行い、毎回10袋以上の販売が定着しています。

活用用途	無料配布					有料配布	製造量
	市事業所	協力農家 食の循環	花いっぱい 運動	イベント 配布	堆肥化講 習会		
配布量	6,050 kg	20,150 kg	1,870 kg	1,921.9 kg	186 kg	64,909 kg	95,086.9 kg
割合	6.4%	21.2%	1.9%	2.0%	0.2%	68.3%	—

有料配布 内訳	定期 有料配布	出先有料配布		イベント	臨時等 有料配布	出張 有料配布	総量
		環境交流 センター	その他				
10 kg	59,530 kg	—	—	—	220 kg	410 kg	60,160 kg
3.0 kg	72 kg	2,139 kg	810 kg	1,728 kg	—	—	4,749 kg
合計	59,602 kg	2,139 kg	810 kg	1,728 kg	220 kg	410 kg	64,909 kg
割合	91.8%	3.3%	1.2%	2.7%	0.4%	0.6%	—

### (3) 地産地消の活動

【主な費用：事業収益 事業開始：2003年 他との体制：各農家などとの連携】

毎月3ヵ所（環境交流センター、くらしかん、さわ病院）を基本に会員農家及び協力農家の協力を得て活動を実施しました。

この他、環境交流センターでは、「とよっぴー農園」で育てた野菜を「ある時あるだけ野菜市」として継続開催しており、リピータを中心に定着し、恒常的な仕組みとして実施しています。残った野菜は、

環境交流センターに持ち込み完売できるようにして、提供農家のモチベーションの維持に努める方向を考慮してきましたが、自己完結の流れとなっています。最近を米を除きほぼありません。活動は旬の作物を提供することから好評を得ており継続した活動を進めます。

実施日	イベント名	農園等 提供数	販売野菜ほか	購入者 数	スタッ フ数
4月2日(土)	地域こだわりマルシェ&野菜市場	6軒	野菜21・米・他2	27人	7人
4月16日(土)	くらしかん地産地消	2軒	野菜19・米	26人	2人
4月28日(木)	さわ病院野菜市	5軒	野菜15・米・他2	35人	6人
5月7日(土)	地域こだわりマルシェ&野菜市場	3軒	野菜21・米・他1	50人	6人
5月21日(土)	くらしかん地産地消	2軒	野菜14・米	32人	3人
5月26日(木)	さわ病院野菜市	3軒	野菜12・米・他2	38人	5人
6月4日(土)	地域こだわりマルシェ&野菜市場	6軒	野菜20・米・他2	42人	6人
6月18日(土)	くらしかん地産地消	2軒	野菜11・米	28人	2人
6月23日(木)	さわ病院野菜市	4軒	野菜17・米・他1	28人	6人
7月2日(土)	地域こだわりマルシェ&野菜市場	6軒	野菜25・米・他2	37人	6人
7月16日(土)	くらしかん地産地消	2軒	野菜10・米	33人	3人
7月28日(木)	さわ病院野菜市	5軒	野菜16・米・他1	17人	3人
8月6日(土)	地域こだわりマルシェ&野菜市場	5軒	野菜21・米・他2	25人	5人
8月20日(土)	くらしかん地産地消	2軒	野菜21・米	31人	2人
8月25日(木)	さわ病院野菜市	4軒	野菜15・米・他1	23人	3人
9月3日(土)	地域こだわりマルシェ&野菜市場	4軒	野菜14・米・他2	22人	4人
9月17日(土)	くらしかん地産地消	2軒	野菜11・米	38人	3人
9月22日(木)	さわ病院野菜市	3軒	野菜9・米・他1	19人	4人
10月1日(土)	地域こだわりマルシェ&野菜市場	5軒	野菜18・米・他1	36人	4人
10月15日(土)	とよっぴーフェスタ	3軒	野菜14・他1	30人	3人
10月27日(木)	さわ病院野菜市	5軒	野菜12・米・他3	38人	5人
11月5日(土)	地域こだわりマルシェ&野菜市場	4軒	野菜17・米・他1	34人	5人
11月19日(土)	くらしかん地産地消	2軒	野菜8・米・他1	32人	2人
11月24日(木)	さわ病院野菜市	4軒	野菜9・米・他2	24人	4人
11月26日(土)	環境展	—	野菜5・他1	45人	4人
12月3日(土)	地域こだわりマルシェ&野菜市場	6軒	野菜19・米・他2	29人	4人
12月17日(土)	くらしかん地産地消	2軒	野菜11・米・他1	17人	2人
12月22日(木)	さわ病院野菜市	5軒	野菜13・米・他2	25人	4人
1月7日(土)	地域こだわりマルシェ&野菜市場	5軒	野菜12・米・他2	30人	4人
1月21日(土)	くらしかん地産地消	2軒	野菜7・米・他1	28人	4人
1月26日(木)	さわ病院野菜市	5軒	野菜11・米・他1	19人	4人
2月4日(土)	地域こだわりマルシェ&野菜市場	5軒	野菜19・米・他3	19人	5人
2月18日(土)	くらしかん地産地消	2軒	野菜8・米	26人	3人
3月4日(土)	地域こだわりマルシェ&野菜市場	5軒	野菜22・米・他2	41人	5人
3月18日(土)	くらしかん地産地消	2軒	野菜8・米	24人	3人
3月23日(木)	さわ病院野菜市	4軒	野菜8・米・他1	15人	4人
合計		36回		1,063人	145人

・あるときあるだけ野菜市

実施日	販売野菜	購入者数	実施日	販売野菜	購入者数
4月12日(火)	野菜1	3人	8月9日(火)	野菜8	13人
4月26日(火)	野菜3	13人	8月16日(火)	野菜7	12人
5月10日(火)	野菜5	18人	8月30日(火)	野菜5	9人
5月31日(火)	野菜2	13人	11月15日(火)	野菜1	4人
6月21日(火)	野菜4	15人	11月22日(火)	野菜1	2人
6月28日(火)	野菜4	20人	11月29日(火)	野菜4	25人
7月5日(火)	野菜3	11人	12月20日(火)	野菜4	11人
7月12日(火)	野菜3	9人	1月17日(火)	野菜5	15人
7月21日(木)	野菜3	14人	1月18日(水)	野菜5	11人
7月26日(火)	野菜3	13人	1月19日(木)	野菜5	9人
8月4日(木)	野菜6	25人	3月28日(火)	野菜1	8人
			合計	22回	273人

#### (4) 花いっぱい運動

【主な費用：負担金 事業開始：2003年 他との体制：各地域との連携】

38グループが37か所で活動を継続されています。専任スタッフの拡充(1人→2人)によりグループとの連絡体制を強化しています。花の種の提供、「とよっぴー」の無料配付、豊中市の花いっぱい運動写真展への一括応募等を継続しています。また、それぞれのグループの活動状況等の調査を行い、その結果をホームページに記載するとともに、活動に反映させています。

#### (5) 環境教育の活動

「豊中アジェンダ21」推進を目的に、環境教育を実施しました。2022年度は、例年実施している「米っこ芋っこ大集合」の活動以外に、学習会や映画の上映会等の多様な取り組みを行いました。

実施日	イベントや団体	内容	参加者数		スタッフ数
			おとな	子ども	
4月17日(日)	プラスチックフリー 育てて使うへちまたわし	映画上映とたわしの話	20人	2人	5人
5月10日(火)	バケツ稲づくり	種もみの配付	5人	0人	1人
5月11日(水)	バケツ稲づくり	種もみの配付	3人	0人	1人
5月12日(木)	バケツ稲づくり	種もみの配付	4人	0人	1人
5月13日(金)	バケツ稲づくり	種もみの配付	2人	0人	1人
6月7日(火)	バケツ稲づくり	稲の苗の配付	35人	0人	1人
6月8日(水)	バケツ稲づくり	稲の苗の配付	18人	0人	1人
6月9日(木)	バケツ稲づくり	稲の苗の配付	10人	0人	1人
6月10日(金)	バケツ稲づくり	稲の苗の配付	5人	0人	1人
6月11日(土)	バケツ稲づくり	稲の苗の配付	1人	0人	1人
6月12日(日)	バケツ稲づくり	稲の苗の配付	5人	0人	1人
8月17日(水)	大麦を焙じて麦茶カフェ	麦の穂から実を取り焙じる	6人	2人	4人
12月10日(土)	能勢の農家に学ぶしめ縄 づくり	しめ縄づくり、コメや稲わ らの話、縄跳び	13人	9人	5人

12月11日(日)	映画「ゼロ・ウェイスト PLUS 持続可能な暮らし」 上映と交流会	映画上映と交流会	18人	0人	4人
合計	14回		145人	13人	28人
			158人		

#### (6) とよっぴーフェスタ・とよっぴー展

【主な費用：基金収入（別会計） 事業開始：2006年（とよっぴー祭り）、2011年（とよっぴー展）  
他との体制：市や参加団体との実行委員会（フェスタ）、会場などで市との連携（とよっぴー展）】  
とよっぴーフェスタは名称変更後、実績を重ねています。2022年度は新型コロナウイルス感染症対策に万全を期しながら実施することができました。来場者数350人と多くありませんでしたが、落ち着いた雰囲気イベントとなりました。

一方、毎年度末近くで開催のとよっぴー展は2月2日（木）と3日（金）の2日間にわたり、通常通り実施し、203人の来場がありました。特に、見える化の努力を行い、堆肥化施設と「とよっぴー農園」のジオラマ展示や堆肥化実演、モニター募集など、来場者が耳目を引くことに腐心しました。この他に、2022年度は環境交流センターでも活動展示などを実施しました。

この他の発信として、SNSの媒体拡大を行い、Instagram、Facebookでの広報活動を行っています。アカウントの名義はNPO法人花と緑のネットワークのものですが、アジェンダのプロジェクト活動についても、あわせて発信を行いました。

#### (参考) NPO 法人花と緑のネットワークで実施した主な活動

- ・栽培講習会 5回実施 190人参加
- ・生ごみ堆肥化講習会 18回実施 119人参加
- ・堆肥化容器助成制度の受付 40件実施  
(ダンボール36件、密封バケツ1件、コンポスト3件、電動0件)
- ・緑と食品のリサイクルプラザ見学対応 37回実施 497人参加
- ・とよっぴー農園活動及び学校等の栽培支援と環境教育（講座）  
67回実施 1,236人参加  
とよっぴー農園：やさいクラブ・畑のお仕事体験・ふれるデー・農体験・講座など  
学校菜園支援と環境教育：菜園支援・農業と食育講座など
- ・とよっぴー倶楽部（堆肥化事業市民応援団「農事研究会含む」） 68人の会員登録
- ・ブログでの発信活動 約177万件（昨年より約29万件増）のアクセス数（開設以降）
- ・SNSでの発信（Instagram、Facebook）
- ・被保護者就労準備支援事業「とよっぴーボランティア」等体験業務 58回実施 のべ58人参加



## 11. 地球温暖化対策プロジェクト

プロジェクトを構成し、「豊中市市民向け地球温暖化対策事業」を実施しています。2022年度は、事業に参加して省エネに取り組んだ参加者に配布するポイントについて、これまでの紙チケット「とよか」に加えて、デジタル地域ポイント「マチカネポイント」が導入されました。これにより、これまでに参加したことのない市民に多く参加してもらうことにつながりました。

### (1) 市民向け地球温暖化対策事業

【主な費用：委託・市の基金 事業開始：2008年 他との体制：協議会による参加】

#### ア 家電の買い替えキャンペーン

家庭で多くのエネルギーを消費する主な家電製品について、買い替え時に省エネ型を選択してもらうため、買い替えした機器の省エネ性能に応じてエコポイントを配布するキャンペーンを実施しました。

	申込み	完了	買い替え台数					
			エアコン	冷蔵庫	テレビ	LED照明	LED電球	電気ポット
買い替え	206軒	96軒	28台	35台	14台	56台	62個	1台
診断希望	86軒	58軒						

※申込のうち、完了に至っていないのはキャンセルや未提出

#### イ 住宅のエネルギー診断（夏の住宅の暑さチェック／冬の住宅の寒さ・湿度チェック）

熱の出入りがエネルギーの消費に影響する住宅の開口部を中心とした診断を、夏と冬に特化して、参加者に「見える化」した形で実施しました。

		実施状況			
		申込	完了	キャンセル	事後アンケート
夏	訪問	2軒	2軒	0軒	
	貸出	7軒	6軒	1軒	
冬	訪問	10軒	9軒	1軒	8軒
	貸出	10軒	10軒	0軒	
合計		29軒	27軒	2軒	8軒

※事後アンケートは冬の訪問の参加者のみを対象に実施

#### ウ エコドライブキャンペーン

自動車の省エネをテーマとし、2022年度は初めて前半・後半の期間に分けて実施しました。

項目	対象人数	実施人数
①期間中に2回以上の給油情報等を提出	144人	107人
②過去の参加者が①を実施	68人	64人
③アンケート（前半期間）の提出	105人	80人
アンケート（後半期間）の提出	144人	98人
④エコドライブ講習会への参加	111人	50人
⑤前半に①を満たした人が後半も①実施	72人	59人
合計	—	—

### エ でんきの「見える化」モニター

家庭に省エネメーターを2週間設置し、1週目は普段通りの生活、2週目は省エネを意識した生活を行います。記録された電気消費量の違いを確認し、数値による省エネ効果を実感してもらいました。69件の申込みがあり、64件を完了しました。

### オ せーのでエコ活！

より多くの市民に省エネの「一斉取組み」を実行してもらうため、取組みのテーマと期間を設定し、取組み回数などに応じてエコポイントチケット「とよか」を進呈しました。

実施期間	テーマ	とよか条件	エントリー数	実施人数
7月27日(水)～ 8月24日(水)	打ち水	1～3回実施で300ポイント 4回以上実施で500ポイント	20人	16人
9月6日(火)～ 9月30日(金)	子ども服の回収	アンケート回答で 500ポイント	122人	107人
10月28日(金)～ 11月17日(木)	サイクリング等	1・2回実施で300ポイント 3回以上実施で500ポイント	65人	33人
12月6日(火)～ 12月30日(金)	ライトダウン	1・2回実施で300ポイント 4回以上実施で500ポイント	28人	9人
合計			235人	165人

あわせて、「せーのでエコ活！」を知ってもらうためのPR企画も実施しました。

実施日	内容	参加者数
7月26日(火)	打ち水体験	93人
12月24日(土)	キャンドル作り	6組9人

※「とよか」62組に進呈したが、その他に数組の辞退があった

### カ とよなかゼロカーボンプラリー (COOL CHOICE の普及啓発)

「ゼロカーボンアクション30」の8つのテーマに応じたイベント・取組みに対象期間に参加し、スタンプを3種類以上集め方にエコポイントチケット「とよか」を進呈しました。

パンフレット 配布枚数	スタンプカード 配布枚数	環境展での PR企画	スタンプカード 提出	参加者 アンケート
749枚	710枚	77人	18人	14人

### キ 環境学習講座

実施日	内容	参加者数
7月31日(日)	家のでんきを調べてみよう	4組10人
9月18日(日)	SDGsでつくる私たちの世界	4人
11月19日(土)	DIYで冬の家を暖かく 窓断熱アイテム製作体験	15組19人
1月28日(土)	ボードゲームで考える「みんなのごみ」	2人
合計	4回	35人

#### ク エコポイントの配布、「とよか」の回収・精算

省エネの取組みに応じて、エコポイントチケット「とよか」、またはマチカネポイントを配布しました。「とよか」は、使用された店舗等から回収し、「豊中市地球温暖化防止基金」を原資に精算しました。マチカネポイントは11月から初めて導入となり、一部の取組みのみを対象としました。

項目	ポイント	とよか	マチカネ
家電の買い替えキャンペーン（買い替え）	400～5,000（上乘せあり）	309,000	150,300
家電の買い替えキャンペーン（診断）	500	19,500	9,500
住宅のエネルギー診断	診断 500、アンケート 300	4,800	10,600
エコドライブキャンペーン	2回以上の給油 600 他	150,000	24,800
でんきの「見える化」モニター	2,000	60,000	68,000
せーのでエコ活（PR 企画含む）	100～500	87,200	—
COOL CHOICE の普及啓発	200～900	24,600	—
環境学習講座	300～500	12,800	—
配布数		667,900	263,200
回収数（使用枚数）		630,100	
使用率		94.3%	

#### ケ とよなかゼロカーボン推進協議会の運営（構成：11 団体・部署）

第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回
7 月 8 日（金）	10 月 28 日（金）	1 月 16 日（月）	3 月 30 日（木）

#### コ 広報・情報発信

項目	結果など
SNS での情報発信	Twitter：投稿 469 件、フォロワー数 315 人 Instagram：投稿 25 件、フォロワー数 233 人 Facebook：投稿 11 件、フォロワー数 72 人 Piazza：投稿 7 件、フォロワー数 11 人
動画の制作	「誰でもできるエコアクション！ in 豊中」（3 分 25 秒） 「自転車のシェアリングサービスで豊中市内の給水スポット紹介」（5 分 13 秒）
ホームページの運営	ページビュー数 19,434
その他	パンフレット等の配布、ロゴの作成、のぼり旗の作成

#### （2）独自企画の実施

生活部会の活動内容の変更に伴い、2020 年度までに生活部会が担っていた地球温暖化や省エネに関する活動を引き継ぎました。なお、実施に際しては、30 代の若手メンバーを中心に企画・実施しました。

実施日	内容	場所	参加者数	スタッフ数
3 月 9 日（木）	サステナライフ、はじめてみませんか	庄内コラボセンター	5 人	2 人

#### （3）定例会 実施日：不定期 場所：環境交流センター

実施日	4 月 13 日	6 月 8 日	8 月 19 日	11 月 18 日	12 月 22 日	2 月 10 日
参加人数	7 人	6 人	13 人	7 人	4 人	6 人